令和３年度１月日田市実施分学力調査の結果について

１　調査の概要

（１）目的

　児童・生徒の基礎的・基本的内容の定着状況について客観的に把握するとともに、その学年の学習内容を年度内に確実に定着させるための指導方法の改善・充実を図ることにより、児童・生徒の学力の向上に資する。

（２）実施期日

令和４年１月１４日（金）

（３）調査対象学年

小学校全学年　　中学校１・２年生

（４）調査内容

小学校１年生（受検者数　４７８名）　国語・算数
小学校２年生（受検者数　４５６名）　国語・算数
小学校３年生（受検者数　５１８名）　国語・算数
小学校４年生（受検者数　５０５名）　国語・社会・算数・理科
小学校５年生（受検者数　５７４名）　国語・社会・算数・理科
小学校６年生（受検者数　５２０名）　国語・社会・算数・理科
中学校１年生（受検者数　５２５名）　国語・社会・数学・理科・英語
中学校２年生（受検者数　５３８名）　国語・社会・数学・理科・英語

（５）用語の説明

◇標準スコア（偏差値）：全国の正答率を５０とみたときの日田市の平均正答率の換算値。

２　令和３年度調査結果の概要

※表の各学年の下段「Ｒ２標準スコア」は、同一集団の昨年度の数値

（例　【小学校２年生】　上段：今年度の数値　下段：現小２の小学校１年生時の数値）

【小学校】※色付き部分は全国値以上

学年	１年生		２年生		３年生		４年生			
教科	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	社会	算数	理科
Ｒ３標準スコア	５２	５４	５０	５１	４９	５２	５０	５０	５２	４８
Ｒ２標準スコア			５１	５１	４９	５１	５２		５３	

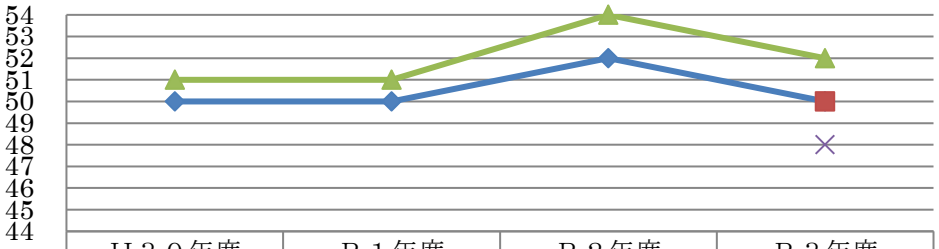
学年	５年生				６年生			
教科	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科
Ｒ３標準スコア	５０	４８	５２	５０	５０	４８	５２	５１
Ｒ２標準スコア	５１	４９	５４	４８	４９	４５	４９	４８

【中学校】　※色付き部分は全国値以上

学年	１年生					２年生				
教科	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
Ｒ３標準スコア	５０	５１	５０	５１	４９	５１	５３	４９	４９	５０
Ｒ２標準スコア	５２	５０	５３	４７		５１	５３	５０	５１	５１

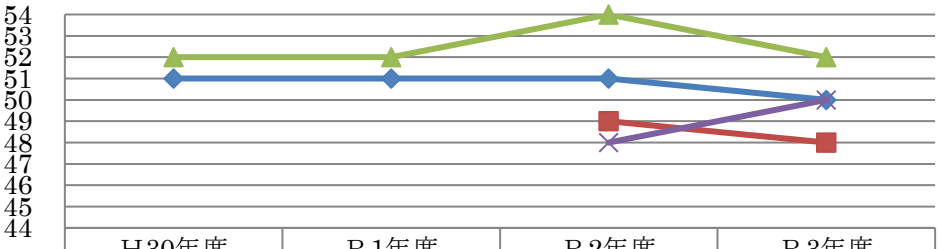
3　同一集団経年変化（４年分）

小学校４年生



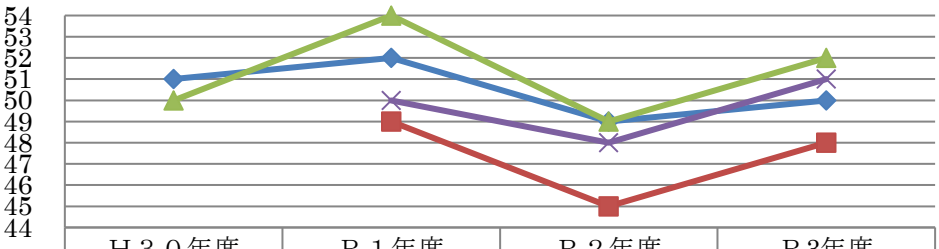
	Ｈ３０年度	Ｒ１年度	Ｒ２年度	Ｒ３年度
国語	50	50	52	50
社会				50
算数	51	51	54	52
理科				48

小学校５年生

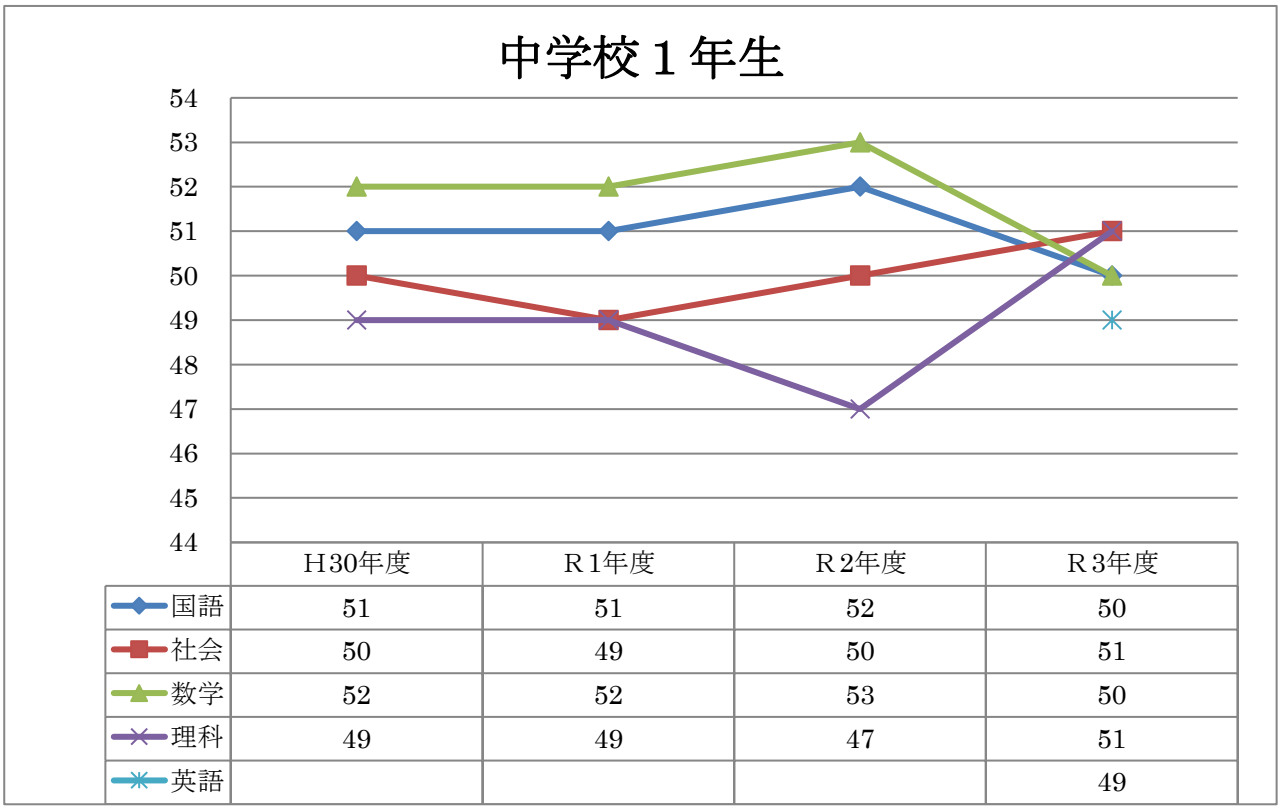


	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
国語	51	51	51	50
社会			49	48
算数	52	52	54	52
理科			48	50

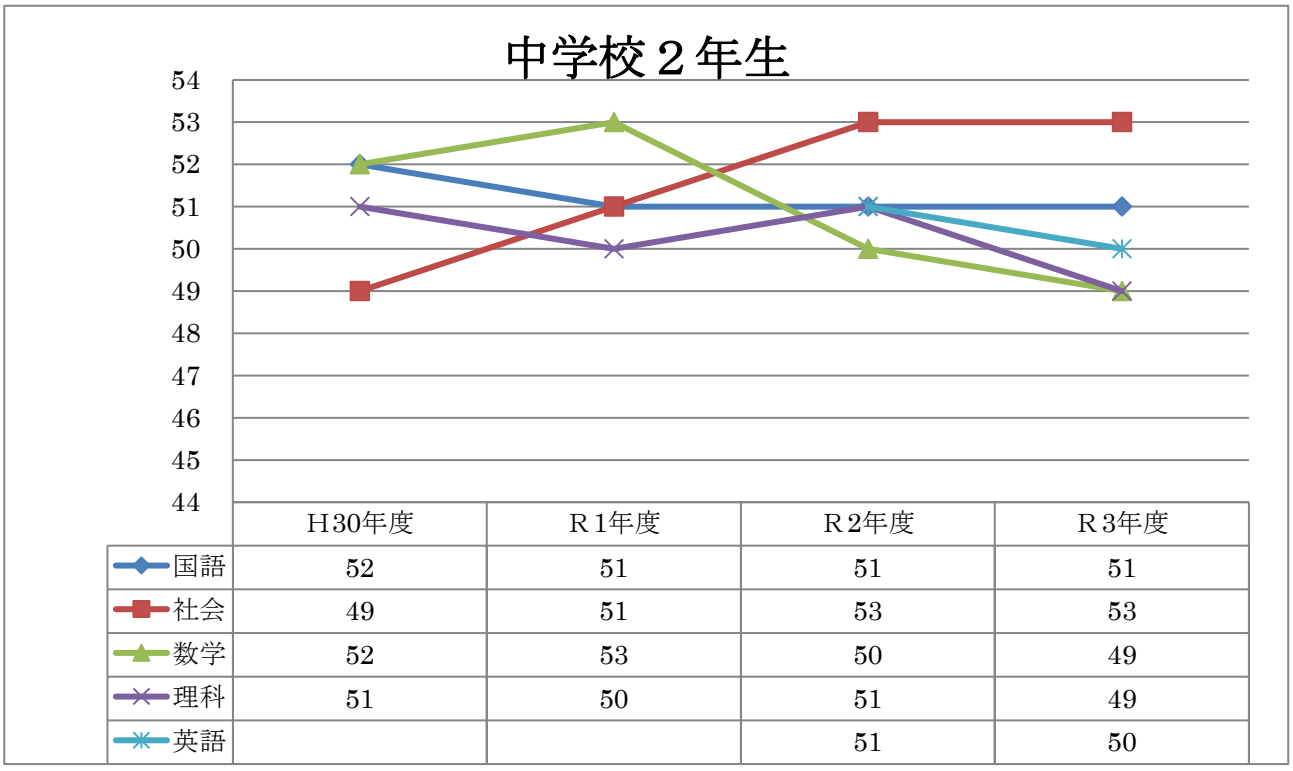
小学校６年生



	Ｈ３０年度	Ｒ１年度	Ｒ２年度	R3年度
国語	51	52	49	50
社会		49	45	48
算数	50	54	49	52
理科		50	48	51



	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
国語	51	51	52	50
社会	50	49	50	51
数学	52	52	53	50
理科	49	49	47	51
英語				49



	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
国語	52	51	51	51
社会	49	51	53	53
数学	52	53	50	49
理科	51	50	51	49
英語			51	50

４　現状と分析

【小学校】

＜現状＞

（１）結果

〇偏差値は、〔１年国語・算数〕〔２年算数〕〔３年算数〕〔４年社会・算数〕〔５年国語・算数・理科〕〔６年国語・算数〕で全国値以上。

〇目標値は、〔４年社会〕〔５年社会〕を除く全ての教科で上回った。

（２）成果・課題の見られた問題内容

	教科	成果	課題
１年	国語	説明文を読み取る　　文章を書く	なし
	算数	２０までの数　３つの数の計算　長さ・かさ	なし
２年	国語	文章を書く	説明文を読み取る
	算数	たし算　　かけ算　　長さ・かさ	１０００までの数
３年	国語	文章を書く	物語の内容を読み取る　　メモをもとに文章を書く
	算数	10000 より大きい数　　わり算　　長さ・重さ	時刻と時間
４年	国語	文章を書く	話合いの内容を聞きとる　メモを取りながら話合う
	社会	くらしを支える水　地震からくらしを守る	地図の見方　　都道府県の様子
	算数	わり算　　小数　　簡単な場合についての割合	垂直・平行と四角形
	理科	１年間の植物の成長　　天気の様子と気温	１年間の動物のようす　　天気のようすと変化
５年	国語	物語・説明文の内容を読み取る	漢字を書く　　言葉の学習
	社会	日本の水産業	低い土地のくらし　　日本の食料生産
	算数	整数のなかま分け　　小数のかけ算・わり算	分数と小数
	理科	植物の発芽と成長　　魚の誕生	けんび鏡の使い方　　流れる水のはたらき
６年	国語	物語の内容を読み取る　　文章を書く	インタビューの内容を聞き取る　　漢字を書く
	社会	大昔のくらし　　今に伝わる室町文化	武士の世の中　　江戸幕府
	算数	分数のかけ算・わり算　　文字と式	なし
	理科	植物のつくりとはたらき　　生物と環境	動物のからだのつくりとはたらき

＜分析＞

〇全学年おおむね１２月までの学習内容の定着ができている。

〇国語は３年生を除く全学年で全国平均を上回っているが、高学年は漢字（書き）に課題が見られる。漢字の読みは当該学年の内容、漢字（書き）は、前学年に学習したものが出題されているため、日記や作文指導等、日常で既習の漢字を使用する指導が必要となる。

〇算数は、全学年で全国平均を上回った。知識・技能及び思考・判断・表現のいずれも全国平均を上回っており、教科担任制推進教員を中心に各学校で授業改善が進んでいると考えられる。

〇全国平均を下回った５，６年社会・４年理科は、上記の課題があった内容について目標値及び全国平均を下回っている。学習内容によって定着に差があるため、ポイントを絞った補充学習が必要になる。

〇記述式の問題で５年社会、６年社会・算数以外は全教科で全国平均を上回っており、自分の考えを表現する授業の推進が行われていると考えられる。

【中学校】

＜現状＞

（１）結果

〇偏差値は、〔１年国語・社会・数学・理科〕〔２年国語・社会〕で全国値以上。

〇目標値は、〔１年国語・社会・理科〕〔２年国語・社会・理科〕で上回った。

（２）課題のあった問題内容

	教科	成果	課題
１年	国語	文法・語句に関する事項　　文章を書く	報告文を書く
	社会	世界の姿　　日本の姿　　古墳時代まで	世界各地の人々の生活と環境
	数学	正の数・負の数	文字式　　比例・反比例
	理科	植物の分類　　動物の分類　　水溶液の性質	身のまわりの物質とその性質
	英語	単語の並べ替えによる英作文	リスニング（内容理解）　語形・語法の知識・理解
２年	国語	説明的な文章の内容を読み取る　　文章を書く	街歩き探検について話し合う
	社会	日本の諸地域　ヨーロッパ人との出会いと全国統一　江戸時代	なし
	数学	証明	連立方程式　　１次関数
	理科	植物のからだのつくりとはたらき	生物と細胞
	英語	語形・語法の知識・理解	単語の並べ替えによる英作文

＜分析＞

〇おおむね１２月までの学習の定着ができている。

〇国語は４年連続で１，２年生とも全国平均を上回っており、学習内容の定着が継続できている。特に「書くこと」についての力が定着している。

〇社会科は１，２年生とも、領域（地理・歴史）と観点（知識・技能、思考・判断・表現）のいずれも全国平均を上回っている。１年数学・理科も知識・技能、思考・判断・表現の観点で全国平均を上回っており、授業において知識を定着させる時間と自分の考えを表現する時間がバランスよく設定されていたと考えられる。

〇全国平均を下回った１年英語、２年数学・理科はいずれも知識・技能の定着と思考・判断・表現に課題が見られた。単元の指導計画を作成し、１時間ごとに付けたい資質・能力を明確にした授業の一層の推進が必要と考えられる。

５　今後の取組

（１）当該学年での学習内容の年度内での確実な定着を図るための取組

〇各学校は「市学力調査結果の分析による具体的改善策」を作成し、改善策（授業改善・補充学習・家庭学習）に基づき、年度内に定着が不十分な単元や領域について補充の学習を行う。

〇Ｑｕｂｅｎａ，フォローアップシート、（中学校）問題データベースを活用し、個に応じた補充学習を行う。

〇補充した力が身に付いているか検証するため、全国調査の過去の問題等を活用する。

〇春休みの宿題については、各学年の一通りの学習内容と併せて、各種学力調査（全国・県・市）結果の課題における年度末までの改善が十分でない学習内容について課す。

（２）令和３年度日田市学力向上の取組（Ｒ３．４月作成）の継続

【付けたい力を意識した密度の濃い授業への改善】

（特に重点的に行うこと）

〇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進。

・「１時間完結型」授業の質の向上により、「児童生徒の学びに向かう力」「基礎的・基本的な知識・技能の定着」「思考力・判断力・表現力等の向上」を図ること。

〇単元や題材の内容や時間のまとまりを見通した授業の実践。

・知識・技能の定着を図る時間を単元の中で計画的に設定する。

〇具体的な評価規準の設定

【学習定着状況の確実な把握】

〇授業と連動した家庭学習・テスト（評価）の実施による、学習内容の定着および定着状況の把握・フォロー。

【補充学習】

〇付けたい力の定着・向上に効果的な補充学習および個別指導の実施。